

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		市施策等の現状・方向性	備考
			＜提案の分類区分＞			
			①まちの活性化に寄与する提案 ②税金及び利用料等の収納率アップ ③使用料・手数料等収入の増加 ④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による） ⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど） ※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの			
①まちの活性化に寄与する提案						
①	1	○	全市民が参加する手法で、市をPRするための「ロゴ」や「ゆるキャラ」を募集し創作する。		8月7日の第4回全国お茶まつり静岡大会掛川市実行委員会において、平成24年11月17(土)・18日(日)に市内で行われる「第66回全国お茶まつり」に合わせて、全国に応募を呼びかけた「お茶のまち掛川」をPRできる「マスコットキャラクター」と「ロゴマーク」が選考された。 マスコットキャラクターは全応募数235点(市内185点、県内22点、県外28点)、ロゴマークは全応募数33点(市内9点、県内3点、県外21点)からデザイン選考委員会(14人)が審査を重ね、最終審査では全員一致で選考された。 今後は必要に応じてデザインの原案にブラッシュアップ(みつくりい)などを行い、全国お茶まつりに向けて、着ぐるみやステッカーなどを作製する予定。	
①	2	△	市街地循環バス(北回り及び南回り)を相互に乗り入れ、8の字運行することにより、利用者数及び運賃収入が増えることが期待できる。		バス運行会社からの情報によると、利用者からは、逆回りの運行を望む声も聞かれるが、8の字運行に関しては未検討。	
①	3	△	掛川ブランド品、こだわり品を販売するインターネットサイトを開設・運営する。 (民間から出店者募集・・・出店料・販売手数料+プロモーション+地域活性化)			
①	4	◎	市役所内にプロモーション課の設置 役割は、掛川ブランドの創出とPR及び販売支援、企業誘致、市民への啓発、市民協働のプロモーション事業の企画・実施など			
①	5	○	中心市街地活性化のために、図書館の運営を民間委託化する。		人件費及び運営経費削減のために、図書館業務を指定管理者制度に移行することを検討し始めた(分科会Aのテーマに関連している)。	
①	6	△	中心市街地活性化のために、駐車場を2時間無料にする(大手門、駅南、駅北、まんまえ)。		H22年10月から実施した駅南第1及び駅北駐車場の15分無料化実証実験を実施した。また、「かけがわ街づくり株式会社」では、「中心市街地駐車場60分間無料開放社会実験」を12月3日から1月9日までの期間で実施。	
①	7	△	まちの歴史・文化にちなんだ地域間交流を図り、相乗効果により観光交流人口や定住人口の増加をめざしたらどうか？			
①③	8	○	利用者のニーズに合った戦略的駐車場料金設定を検討する。 (大手門P=観光客、駅南P=会社員、駅北P=旅行者、まんまえP=商店街利用者)			

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		
			市施策等の現状・方向性	備考	
			<p>＜提案の分類区分＞</p> <p>①まちの活性化に寄与する提案</p> <p>②税金及び利用料等の収納率アップ</p> <p>③使用料・手数料等収入の増加</p> <p>④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による）</p> <p>⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど）</p> <p>※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする</p> <p>A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの</p> <p>B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの</p>		
①⑤	9	×	<p>中心市街地等で実施するイベント等への参加者を増やすために、同報無線で実施をPRする。</p>	<p>【危機管理課】合併前の旧掛川市では、同報無線を活用して高校野球やマラソン大会等のイベント情報を放送していたが、緊急性を要する内容でない放送を流すことによる苦情が多いため、市として放送基準を定めイベントや各種運動に関する広報は、放送の対象外と決めた。最近では、食中毒や熱中症等の放送内容に対しても苦情が多いことから、対象者が限定されるイベント情報を放送することは難しいと判断する。</p>	<p>同報無線利用は、マイナス面もあり、人口10万人都市には不向き(小さな町村なら可能)。他の方法で告知すべき。</p>

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		市施策等の現状・方向性	備考
			＜提案の分類区分＞ ①まちの活性化に寄与する提案 ②税金及び利用料等の収納率アップ ③使用料・手数料等収入の増加 ④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による） ⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど） ※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの			
②税金及び利用料等の収納率アップに関する提案						
②	10	△	郊外の商業集積地の土地固定資産税を割増課税し、中心市街地の店舗等の固定資産税を軽減及び市民主催イベントへの支援に充てる。			
②	11	◎	税金及び利用料等（市営住宅家賃、学校給食費を含む）の収納率を上げる。例）静岡県下23市中No.1をめざす。 →手段：夜間収納、クレジット決済、収納率増加計画、滞納者の徴収を人事考課に反映、シルバー等の雇用により訪問徴収など	【納税課】 ・平成22年度の個人住民税収納率 87.58%で23市中14位、同じく法人住民税収納率 99.43%で23市中3位 ・県との協働により、個人住民税収納率を2014年度までに92%にすることを目標に取り組みを強化する。		
②	12	×	福祉施設について、利用者（成人、学生、子ども、高齢者等）によって料金設定を区分する。	【企画調整課】 24年度に使用（利用）料の減免規定を、障害者や学校活動に対象を限定して減免を行うよう規定の見直しを指示した。 現状では、高齢者福祉施設について老人クラブの活動に対して減免を行っている。	既に利用者によって料金区分をしている。	
③使用料・手数料等収入の増加に関する提案						
③	13	△	将来の施設老朽化に伴う修繕費用を踏まえると、市有体育館の使用料について、つま恋や民間スポーツ施設と同金額に設定しても良いのではないかと？	【企画調整課】 施設利用者だけの視点ではなく、税金で建設費を負担した全ての市民の視点も取り入れ、施設修繕を見越した料金設定を考えていく必要がある。指定管理者制度を導入している施設は、毎年収支バランスを見ているが、今後、運営経費に対する使用料収入の割合が著しく低い施設については、統廃合や料金設定の見直しを指示していく。		
③	14	×	「市役所利用者手数料1日100円徴収計画」の策定、実行	計画の策定予定なし		徴収目的や根拠を示す必要あり
③	15	○	公共施設の使用料基準の見直しについて、他市町の使用料金を確認し、条例を改正する。			
③	16	○	公用車、公共施設の玄関マット・エレベータマット、印刷物等に企業広告を掲載し、広告料収入を得る。	【管財課】 市民課窓口に企業広告PR用のモニタを設置する予定。		
③	17	×	未納対策として、学校給食費の納入にカード決済を導入したらどうか？	督促状・催告書の送付、電話や訪問による納付指導、市長名での最終催告書の送付等を実施しているが、納入時のカード決済は導入していない。	口座引落しを導入しており、カード決済まで行う必要性なし。その前に意識啓発や督促強化などを行う必要がある。	
③	18	○	自動販売機設置業者を公募し、その収入益を活用したらどうか？			収益金は市民活動基金を創設し繰入、又は掛川市環境基金に繰入

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		市施策等の現状・方向性	備考
			提案内容	備考		
			<p>分科会Bの提案</p> <p><提案の分類区分></p> <p>①まちの活性化に寄与する提案</p> <p>②税金及び利用料等の収納率アップ</p> <p>③使用料・手数料等収入の増加</p> <p>④市有財産収入の増加(市有財産の利活用増進による)</p> <p>⑤その他の提案(予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど)</p> <p>※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする</p> <p>A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの</p> <p>B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの</p>			
③	19	○	首都圏や関西圏等の掛川市出身者に対して「ふるさと納税」をPRするキャンペーンを実施したらどうか?	市役所以外では、日本橋プラザビル1階のふるさと情報コーナーにパンフレットを設置したり、ふるさと親善大使にもPRをしている。キャンペーンの実施はしていない。		
③	20	△	環境資源ギャラリーのごみ処理費用は安すぎるので、手数料を増やすべきだ。	・家庭系一般廃棄物 50円/10kg(税別)、事業系一般廃棄物100円/10kg(税別)・・・別紙参照 ・現状では値上げは検討していない。	表現を修正、あるいは例示として扱う 【参考】(近隣市の家庭系一般廃棄物処理手数料) ・袋井市、磐田市 70円/10kg(100kg未満) ・浜松市、島田市 無料	
③	21	○	使用料等の減免規定の見直し	【企画調整課】 24年度に使用(利用)料の減免規定を、障害者や学校活動に対象を限定して減免を行うよう規定の見直しを指示した。 現状では、高齢者福祉施設について老人クラブの活動に対して減免を行っている。		
③	22	×	市職員の視察対応の有料化を図る。 横浜市(1.5時間5千円)、夕張市(5人以内1万5千円)、 亀岡市(5人以内3千円)など	・無料。資料代ももらっていない。	・説明内容が有料化に見合うか、また自治体同士の視察はお互い様と言うこともあり、有料化する際には、それなりの質の高さが求められる。	
③	23	△	ごみ減量化を兼ねて家庭ごみの有料化を図る。	【環境政策課】 平成23年度ごみ有料化検討委員会にて検討→提言 現在、庁内で検討中		
③	24	×	各種証明書発行手数料の増額見直し(住民票・印鑑証明・その他)	掛川市手数料条例にて住民票、印鑑登録証明ともに300円と定められている。		
③④	25	○	市有財産の内容と利活用状況を把握し、法令等を勘案しながら、市民目線での利活用や、目的外使用、企業広告掲載など大胆に活用すべき。	市民課窓口「モニター広告」の設置を検討中		
③④	26	△	竹の丸入館料100円の徴収を止めて、イベントスペース、カフェ・ランチ営業等を行い利用料収入や営業収入を増やす。	入館料1人1回100円(小中学生は50円)、広間やギャラリーなどの使用に関しては、300~1,600円の使用料を徴収している。 指定事業として竹の丸塾(主として歴史分野)や竹の丸ゼミ(主として文化芸術分野)、葛布展などを実施したほか、能鑑賞会を開催するなど、設置目的に沿った運営が行われている。	・市民ニーズの把握 ・条例改正 など	
③⑤	27	△	新たな手数料収入源として、ユニークな記念品又は証明書を発行する。 例)成人証明書、金婚式証明書、新築記念証明書など			「新たな手数料の収入源の研究」としていく
④市有財産収入の増加に関する提案(市有財産の利活用増進策を含む)						
④	28	×	武器庫を民間活力により、売却又は貸付し、喫茶店等として活用する。	【管財課】調査の結果、武器庫自体に文化財としての価値はなく、部材の一部に歴史的価値があるものと確認できたため、それは保護するが、武器庫そのものは取り壊し、公園として利用する方針である。	喫茶等は、竹の丸の目的外使用で検討してもらう	

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		
			分科会Bの提案	備考	
			<p>＜提案の分類区分＞</p> <p>①まちの活性化に寄与する提案</p> <p>②税金及び利用料等の収納率アップ</p> <p>③使用料・手数料等収入の増加</p> <p>④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による）</p> <p>⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど）</p> <p>※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする</p> <p>A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの</p> <p>B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの</p>	市施策等の現状・方向性	備考
④	29	○	物品販売施設(道の駅等)や観光施設等の使用料収入又は賃料のアップ		
④	30	○	収支が黒字になっている施設は、市が継続保有でもよいが、赤字の施設は、要因を分析し、改善策を検討すべき。福祉等との関連性を勘案して必要に応じて統廃合や民営化を検討する。	指定管理者制度の導入施設については、毎年の評価で収支バランスを確認しているが、赤字要因の詳細な分析や改善策を検討し、実務に反映させるところまでできていないため、今後はその点を強化していく。	
④	31	△	保有財産で凍結状態にあるものは、処分も必要。(国有地、県有地等も含めて)	使わなくなった行政財産のうち、普通財産化できるものは、更地にして売却する方針である。	
④	32	△	市庁舎や体育施設の駐車場等にメガソーラーを設置したらどうか？(民間活力や市民ファンド等による設置)	・市内31の小中学校に10kWの太陽光発電設備を設置済 ・土方幼稚園、山王荘、さんりーな、たまりーな等にも設置済 ・掛川市環境基金の活用による新エネ設備導入(計画なし)	例えば、PV10kWシステム(パネル+パワコン)で約700～1,000万円の投資が必要。売電収入により設備投資額の早期回収が見込めるか要検討。
④	33	×	(適当な施設があれば)公共施設等への命名権の売却を検討したらどうか？		現時点で命名権に該当するような施設が見当たらない。
④	34	○	市職員駐車場の有料化 (例:本庁舎約400人×@1,000円=40万円/月、480万円/年)		市有地に職員個人の車両を駐車。行政財産の目的外使用に該当？車通勤でない職員との平等性を保つ。
④	35	○	自動販売機の設置収益を市民まちづくり活動支援費に充当する。		
④	36	○	利用者サービスの向上を目指し、既存の利用方法に別の機能を付加する等、行政財産の目的外使用を考えたらどうか？		
④⑤	37	○	指定管理者制度による市施設内での利用者サービスを兼ねた販売行為の弾力的運用 市＝目的外収入の増、指定管理者＝自主事業収入の増、利用者＝利便性の向上		
④⑤	38	△	地域生涯学習センターや体育館等の施設の運営費、光熱費、修繕費等の収支データを算定し、それらを題材に総合学習の授業で赤字施設の問題解決などを勉強し、収支改善と教育の両面に役立てる。		
⑤その他の提案					
⑤	39	△	掛川市のホームページをフェイスブックに一元化する。	平成24年4月から「観光ホットNEWS」をfacebookで開始。掛川市の観光情報を発信しています。facebookへの一元化は未検討。	facebook利用者数の実態はどうか？

区分	一連番号	提案への可否	分科会Bの提案		市施策等の現状・方向性	備考
			提案内容	備考		
			<p>＜提案の分類区分＞</p> <p>①まちの活性化に寄与する提案</p> <p>②税金及び利用料等の収納率アップ</p> <p>③使用料・手数料等収入の増加</p> <p>④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による）</p> <p>⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど）</p> <p>※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする</p> <p>A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの</p> <p>B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの</p>			
⑤	40	×	市債削減のために、市債務の返済をテーマに掲げたキャッチフレーズを掲げる。		【企画調整課】市の将来負担額を100億円削減するために、第2次改革プランでは当面平成28年度までに経常経費を17億円削減することを目標とし、取り組み内容を分科会Aにおいて検討している。	分科会Aに任せる。
⑤	41	×	市役所の業務一覧を作成し、将来を見据えたときに行政がやらなければならないものと、行政サービスから切り離していくものを仕分け、行政の守備範囲を1/3に縮小する。		【企画調整課】分科会Aで検討する。	分科会Aに任せる。
⑤	42	◎	美と健康の生涯学習都市「掛川茶」のブランド全国発信戦略 (1)市内に掛川シティプロモーション課の開設 (2)お茶に関連する商品をリストアップ(掛川茶ブランドの認定制度) (3)お茶関連商品による市民協働プロモーション戦略 (4)掛川ブランド品のネット通販サイト運営			
⑤	43	△	障害者を雇用し、学校内の緑花木や清掃等の管理作業を委託する。 (障害者の就業機会の提供、障害者とのふれあいの機会にも活用)			
⑤	44	△	学校給食センターを統廃合し、民間委託する。		【学務課】PFI方式での建設も含めて検討している。	経費削減は分科会Aの担当
⑤	45	◎	地域資源を活用し、特産品、観光施設、体験できること等を組み合わせて掛川市の目玉としてPRする。			
⑤	46	△	高齢化社会に向けて、交流の場、健康面で有効なもの、交通の利便性の向上などをハード・ソフトの両面から検討する。			意味不明？
⑤	47	◎	「掛川ブランド」の創出とプロモーションに関して、各部署での取り組みを結びつけて、同じベクトルに向かせる調整役となる部署をつくるべきである。(No.12と同じ)			
⑤	48	△	市は、総合計画等において「省エネ・再生可能エネルギー普及促進」を掲げているため、市庁舎南側駐車場を利用した太陽光発電パネルの設置により、率先して実施すべきではないか。 (エネルギー自給自足、売電収入増)		照明のLED化促進やPPS事業の導入など節電とエネルギーコストの削減を中心に取り組みを行っている。 パネルの設置費が高額なため、現段階で導入予定はない。	他事業より優先的に予算を配分するか？
⑤	49	△	市庁舎にエネルギー管理システムを導入し、使用電力のデマンド管理やピークカット対策等を行い、さらに節電を実施する。		・一部施設で省エネナビ導入済 ・庁舎管理委託業者によるデマンド管理を実施中 ・ピークカット対策は、職員の努力レベルで実施中 ・執務室等の蛍光灯をLEDに取り替え	エネルギー管理システムの導入経費と費用対効果に関する見通しはどうか？

区分	一連 番号	提案 への 可否	分科会Bの提案		
			分科会Bの提案	市施策等の現状・方向性	備考
			<p>＜提案の分類区分＞</p> <p>①まちの活性化に寄与する提案</p> <p>②税金及び利用料等の収納率アップ</p> <p>③使用料・手数料等収入の増加</p> <p>④市有財産収入の増加（市有財産の利活用増進による）</p> <p>⑤その他の提案（予算の節約、新しいサービスの提供、制度の見直しなど）</p> <p>※下記に該当する提案は実現が難しいことから対象外とする</p> <p>A 現行の法令上問題があり、法令を改正しないと実施できないもの</p> <p>B 特定の受益者のみに有利になる等、公平性に欠けるもの</p>		
⑤	50	×	公共・公益施設の建設、維持管理、運営等にPFI事業を導入する。	具体的な検討はしていない。	本来、新病院がPFI導入できたが、PFIを選択せず、今後PFIに馴染む公共事業があれば、その時点で検討する。
⑤	51	△	天浜線の活性化のため、アピタ掛川店付近に新駅を設置して利用客の増加を図る。 また、自動車を運転できない人のために最寄りの駅まで乗せていく運転ボランティア支援制度など交通弱者への対策も併せて検討を。	H24年度に関係自治体等による「天竜浜名湖鉄道の経営分析と将来展望」プロジェクトチームが発足し、経営分析や鉄道がもつ社会的価値の分析などを行い、鉄道事業の継続性について検討を行っている。	・新駅設置のニーズ把握方法と設置した場合の費用対効果の検討は？ ・他の交通手段として循環バスがある。